

氏名	松本 洋
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲第 5802 号
学位授与の日付	平成30年9月27日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Detailed Vascular Anatomy and Flap Harvest Technique of the Serratus Anterior and Rib Composite Flap (肋骨付き前鋸筋弁における詳細な血行解剖と皮弁挙上法)
論文審査委員	教授 尾崎敏文 教授 土井原博義 准教授 西田圭一郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

肋骨付き前鋸筋弁において、前鋸筋から肋骨への詳細な血行動態の解析はなされていない。我々は胸背動脈前鋸筋枝から各前鋸筋へ分枝される血管(slip artery)の末梢が穿通血管(interconnecting vessel)を介して肋間動脈へ直接合流するルート(axial route)に着目し、本骨弁における詳細な血行動態の解析と、新たな骨弁挙上法の開発を行った。方法は、ホルマリン灌流固定屍体を用いた肉眼解剖と三次元 CT 血管造影検査、血管鑄型の作成をおこなった。そしてそれらから得られた知見を基に、臨床現場において実際に骨弁を挙上し、ICG 蛍光血管造影検査で血流を評価した結果、骨弁の血流改善がみられた。本研究により、従来から本骨弁の主要血行と考えられていた前鋸筋肋骨付着部での骨膜血行に加え、本研究で解析した axial route を含めることで、より血流の安定した移植組織の採取が可能となることが示唆された。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

肋骨付き前鋸筋弁において、前鋸筋から肋骨への詳細な血行動態の解析はなされていない。筆者らは胸背動脈前鋸筋枝から各前鋸筋へ分岐される血管 (slip artery) の末梢が穿通血管 (interconnecting vessel) を介して肋間動脈へ直接合流するルート (axial route) に着目し、本骨弁における詳細な血行動態の解析と、新たな骨弁挙上法の開発を行った。方法には、ホルマリン灌流固定屍体を用いた肉眼解剖と三次元 CT 血管造影検査、血管鑄型の作成を用いている。それらから得られた知見を基に、臨床現場において実際に骨弁を挙上し、ICG 蛍光血管造影検査で血流を評価した結果、骨弁の血流改善がみられた。本研究により、従来から本骨弁の主要血行と考えられていた前鋸筋肋骨付着部での骨膜血行に加え、本研究で解析した axial route を含めることで、より血流の安定した移植組織の採取が可能となる。これは重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。
よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。